

燃料費調整制度の見直しについて

弊社では資源価格を適切に反映し、安定的な電力供給を継続するため、2023年4月分電気料金より燃料費調整額の算出方式を以下のように改訂いたします。

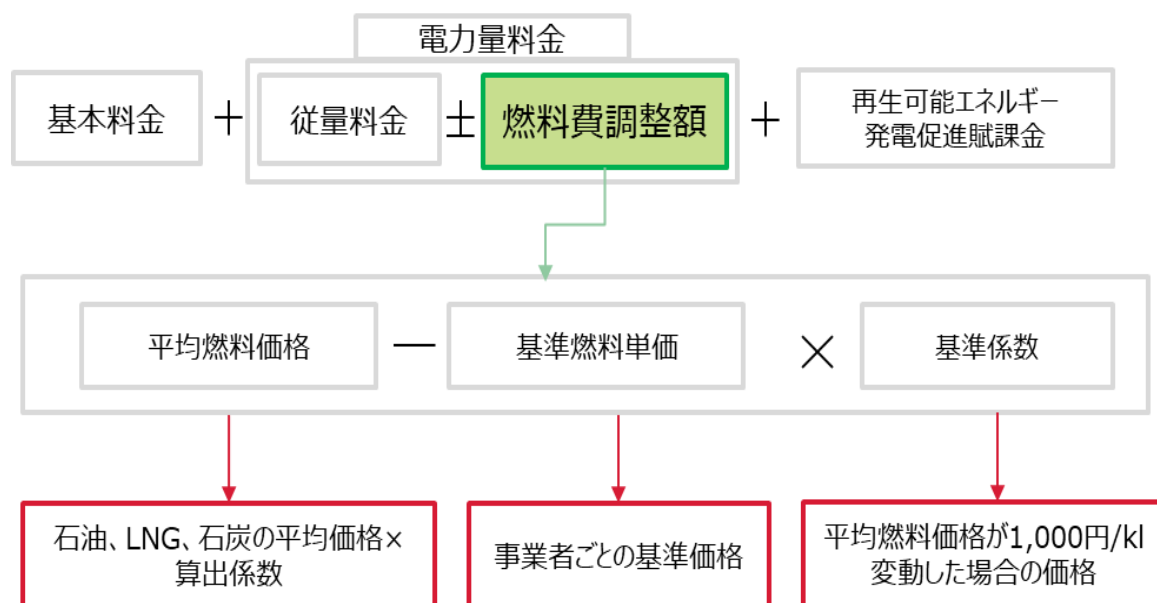
改訂箇所

- ①平均燃料価格算定に用いる、各燃料の算出係数
- ②(高圧)燃料費調整単価算定に用いる、基準燃料価格の変更
- ③(特別高圧)燃料費調整単価算定に用いる、基準燃料価格の追加
- ④基準単価の変更
- ⑤離島ユニバーサル調整制度の撤廃

【燃料費調整制度の概要】

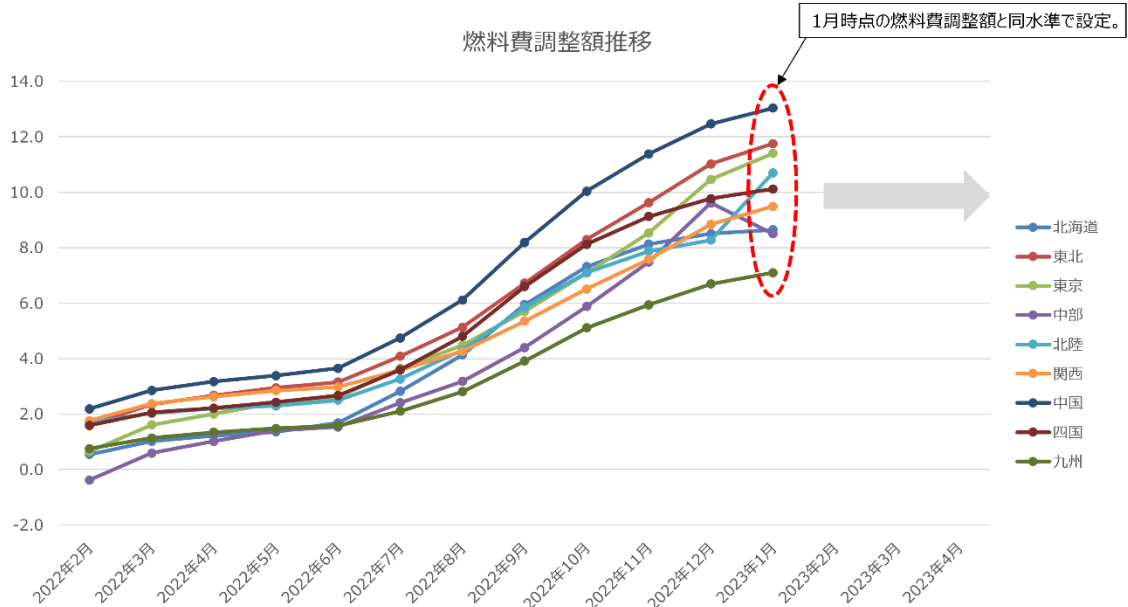
- ・ 事業者の効率化努力のおよばない燃料価格や為替レートの影響を外部化することで、事業者の経営効率化の成果を明確にし、経済情勢の変化を出来る限り迅速に料金に反映させると同時に、事業者の経営環境の安定を図ることを目的とした制度です。
- ・ 石油、LNG、石炭の3種類の燃料における3ヶ月間の平均燃料価格を毎月の電気料金に反映する仕組みとなっております。

※図内赤枠箇所が今回の改訂箇所となります。



【燃料費調整単価の推移】

- ・ 2023年1月時点の燃料費調整単価は、現在の燃料費調整単価の水準と同等に設定しております。
- ・ 適用が開始される2023年4月以降の燃料費調整単価の推移につきましては、今後の燃料価格次第となります。



【改訂内容詳細】

① 平均燃料価格算定に用いる、各燃料の算出係数

石油、LNG、石炭の平均価格に乗ずる算出係数(α 、 β 、 γ)を下記のように変更いたします。

※旧約款上では関西エリアにおいて、関西(旧)・関西(新)・関西(新新)の3種類が存在していましたが、新約款では関西エリアにおける燃料費調整額の表記を統合させていただきます。

エリア	変更前			変更後		
	α	β	γ	α	β	γ
北海道	0.4699	-	0.7879	0.0033	0.0069	0.9450
東北	0.1152	0.2714	0.7386			
東京	0.1970	0.4435	0.2512			
中部	0.0275	0.4792	0.4275			
北陸	0.2303	-	1.1441			
関西	0.0140	0.3483	0.7227			
中国	0.1543	0.1322	0.9761			
四国	0.2104	0.0541	1.0588			
九州	0.0053	0.1861	1.0757			

②(高圧)燃料費調整単価算定に用いる、基準燃料価格の変更

	変更前	変更後
エリア	基準燃料価格	基準燃料価格
北海道	37,200 円	28,900 円
東北	31,400 円	20,600 円
東京	44,200 円	21,500 円
中部	45,900 円	23,400 円
北陸	21,900 円	29,300 円
関西	27,100 円	26,600 円
中国	26,000 円	17,100 円
四国	26,000 円	25,000 円
九州	27,400 円	33,100 円

③(特別高圧)燃料費調整単価算定に用いる、基準燃料価格の追加

	変更前	変更後
エリア	基準燃料価格	基準燃料価格
北海道	記載なし	29,500 円
東北		21,600 円
東京		21,900 円
中部		23,800 円
北陸		29,600 円
関西		27,000 円
中国		18,200 円
四国		25,700 円
九州		33,400 円

④基準単価の変更

	変更前		変更後
エリア	高圧	特別高圧	特別高圧・高圧
北海道	18 銭 9 厘	18 銭 4 厘	41 銭
東北	21 銭 3 厘	20 銭 6 厘	
東京	22 銭 4 厘	22 銭 1 厘	
中部	22 銭 3 厘	22 銭 0 厘	
北陸	15 銭 2 厘	15 銭 0 厘	
関西	15 銭 8 厘	20 銭 4 厘	

中国	23 銭 4 厘	15 銭 6 厘	
四国	18 銭 8 厘	18 銭 3 厘	
九州	13 銭 0 厘	12 銭 8 厘	

⑤離島ユニバーサル調整制度の撤廃

2023 年 4 月料金以前は、旧一般電気事業者と同様の燃料費調整制度を弊社も採用しておりましたが、今回の改訂により以前の制度と異なる運用を採用するため、旧一般電気事業者が採用している「離島ユニバーサル調整制度」は撤廃いたします。

以上